

6月市議会
開会

市政戦略会議 ムダ浪費なくし 市民のくらし応援になるか

6月定例会市議会が開会しました。提案された議案は条例4件、補正予算1件、工事契約2件、施設の指定管理指定1件、市道の認定1件等、計21件です。一面は党市議団が質疑をする主な議案の特徴です。日本共産党市議団は、議案質疑と一般質問で、市民のくらしとこのちを最優先する市政実現のため、全員が奮闘します。

市政戦略会議設置 条例のねらいは

本市の重要施策に関する事項及び行財政改革の推進に関する事項について、市長の諮問に応じ、戦略会議から必要に応じて意見を述べる。15人以内で組織し、必要に応じて専門部会を設置し、事業仕分けも行う。学識経験者や関係団体の推薦、公募による市民などで臨時委員を置くことができるという

ものです。

市政戦略会議は今まさにムダ浪費をなくし、市民のいのちとくらしを応援する施策の実現に向けた戦略を明らかにするべきです。そうなるのか、問います。

子ども手当創設に伴う 地方税法の改正

子ども手当創設に伴い、16歳未満の年少扶養控除が廃止されるため、非課税世帯の根拠としていた扶養親族の数を把握する必要が生じ、「扶養親族申告書」を提出することになります。

市県民税での扶養控除廃止・増税は平成24年度から、市川市では58000人が対象です。市税増加見込みは11億4000万円ですが、国の子育て政策に充てるもので、市川市独自に用途を決めることはできません。子育て世代の増税による子ども手当で創設の効果はどうなるのか、問います。



南八幡ワークス、指 定管理委託

全国に先駆けて創設した市川市立の精神障害者就労移行支援施設の南八幡ワークスの運営を市内社会福祉法人に委託するものです。障害者福祉施設の指定管理委託は初めてです。

都市計画道路3・4・18号線と京成との立体化

コルトンプラザ前の道路から国道14号を交差して北部に繋ぐ市川都市計画道路3・4・18号線の工事が進んでいます。京成線と立体交差する内容で協議が整い、市川市と京成電鉄が「工事協定」を結ぶ議案が提出されました。

全国市町村議員研修に参加



5月13・14日、自治体問題研究所企画・自治体研究社主催で行われた全国市町村議員研修に市議団3人が参加しました。初日は会津若松市の議会基本条例、政治倫理条例づくりについて、その中心的役割を果たした市議会議員の方から実践報告がありました。

条例作りはまず広く市民の意見を聞く意見交換会を数多く実施することを重視、これらを整理して課題を明らかにし、政策立案をし、また市民に説明・報告して意見をさらに求めることを丁寧にやられたことがわかりました。

工事の金額は全体で2億600万円、負担割合は市川市が22億420万円、京成電鉄が180万円です。

国民健康保険税 例の一部改正

国保は高齢者や失業者、非正規労働者などの低所得層で占める一方、国の負担削減と加入者負担が進み、税の滞納が増え続けています。

改正は、国の政策として法定減免の対象を拡大し、リストラ、倒産、解雇などによる失業者の負

担軽減措置を創設したことにより、市の条例も改正するといふものです。いのちを大切にす施策となるか、問います。

日本共産党市川市議団

2010年6月3日発行 第237号

議会報告

連絡先: 市川市役所内日本共産党控室
(334)1111内線4591

市議団ホームページをご覧ください
<http://www.jcp-ichikawa.com/>